	質問事項	記述式回答
	来年秋を見据えて、現在の景気の基調	
1	9月16日の経済財政諮問会議において、2015年 秋を見据えて、現在の景気の基調を見る際、以下 の5項目について今後注視すべきとされました。こ れらを参考に、現在の景気の基調や考慮すべきリ スクをどうご覧になっているか、また、とるべき対応 があれば、合わせて300字以内でご記入ください。 ① 消費の安定的増加、それを支える雇用者数・賃 金の伸び(正規比率の上昇を含め)や消費マインド ② 企業収益の動向、民間設備投資の強さ(設備 投資計画の動向も含む) ③ 輸出入の動向、交易条件の動向 ④ 物価動向(一時的要因を除いた実勢と期待物 価) ⑤ マーケット(株価、為替、金利等)の動向	10月末のサプライズ緩和がマーケット面でプラスに働いたのは、周知のとおり。ただ消費増税を踏まえ「消費者目線」で見ると、全く所感が違う。まず一部企業で収益が上がれど、中小企業や地方への恩恵は薄い。また9月の個人消費も7、8月との比較で一部好転したかに見えるが、前年比では多くがマイナス。百貨店販売も8月、外国人売上高が過去最高の47億円を記録するなど「ツーリスト特需」が大きい。庶民に近い全国スーパー売上は6か月連続の減少だ。何より、円安起因の物価上昇による「実質賃金」下降が大きい。この先、賃金上昇や正社員雇用、社会保障等の安心要素が「一過性でない」と認識されない限り、防貧による消費抑制が続くだろう
	地方創生・地域活性化	
2	地方創生・地域活性化に向けて、重点的に取り組むべき課題及び対応策につき、ご自身(自社)の知見・経験も踏まえてお考えを300字以内でご記入下さい。その際、地方が抱える課題の背景についても、併せてご記入下さい。	以前記述したとおり、現代は上京した学生でも「地元で就職したい」が7割弱にのぼる(14年 マイナビ調べ)。街コンに参加する男女も3~4割が「Uターン結婚」希望と言われ、就職・結婚を「できれば地元で」と考える若者が本当に多い。昨今話題の「林業女子」や「農起業男子」(一部、農水省と連携)など、既に地方活性化に動き出した若者もいるが、まだまだそのノウハウや助成について知らない男女も数多い。また、従来から続く様々な規制や縄張り意識が、彼らの意欲を阻害している側面もある。今後は諸制度の改革と共に、地元で起業あるいは始動した若者の声を全国に発信し、地元創生を「自分ごと」と捉えてもらう仕掛けが有効では?
その他		
3	10月下旬の為替相場は107円台付近で推移しています。最近の為替相場の動向やその景気への影響について、ご見解があれば300字以内でご記入ください。	GPIFを含め、この先海外から投資や資金を呼び込むには、1ドル120円台まで円安を勧めるのも手だろう。ただ問題は「先」でなく「いま」の生活に窮する消費者があまりに多いことだ。私達が世帯年収400万円台の一般家庭で食調査を行なっても、「家族4人で食費が月3万円台」はザラ。その分、たまのプチ贅沢や教育費に充てたいからだ。サラリーマンの平均小遣いも、3万円台が続く。非正規男性では2万円台前半だ。彼らには月数千円の負担増も重い。消費税率アップや厚生年金値上に加え、円安による物価上昇がどれほど厳しいものか。海外に進出しない中小企業では尚のこと。従業員数の7割が中小企業に集中しているのを忘れないで欲しい